

令和6年度 第5回 浜名中学校 学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年2月7日（金） 15時から16時30分まで
- 2 開催場所 浜名中学校 会議室
- 3 出席委員 竹内 佐織、松島 一博、岡田 正利、内山 益巳、高橋 香代、竹内 幸弘
- 4 欠席委員 平野 岳子、小野崎 あゆみ
- 5 オブザーバー 井田 正人（浜名協働センター職員）
- 6 学校支援コーディネーター 高橋 香代
- 7 学 校 河合 和夫（校長）、内山 昌俊（教頭）、黒柳 幸夫（教頭）、
橋爪 敦志（主幹教諭）、西村 善希（生徒指導主事）、中島 洋子（CSディレクター）
- 8 会議録作成者 CSディレクター 中島 洋子
- 9 傍聴者 なし

10 協議事項

1. 会長あいさつ 2. 校長あいさつ 3. 議長の選出 4. 前回会議録の確認 5. 熟議
6. 学校支援活動について 7. 連絡事項

- 11 会議録作成者 CSディレクター 中島 洋子

- 12 会議記録 司会は高橋委員が行った。

司会の高橋より、委員総数8人のうち6人の出席があり、会議が成立しているとの報告があった。

1. 会長あいさつ （竹内会長）

大阪訪問の際、多くの訪日外国人を見かけ、大阪万博のムードも感じた。修学旅行で訪問するときにその空気を生徒・教師も感じてほしい。来年度の新しい教育方針を把握・協力していきたい。

2. 校長のあいさつ （河合校長）

順調な新年のスタートを切ることができた。生徒・教師ともにインフルエンザの罹患が多くあったが、私立高校の受験は問題なく終了した。来月は公立高校の受験もあるため緊張感を持った生活指導をしていきたい。面接練習の際はマナーを守り恥ずかしくない態度が取れるように指導をお願いしたい。また、来年度も今年以上の協力をお願いしたい。

3. 議長の選出 （司会 高橋委員）

議長の選出について竹内会長を推挙する発言があり、全員拍手で異議なくこれを承認した。

4. 前回会議録の確認 （黒柳教頭）

会議録は後日送付する旨伝えられた。

5. 熟議 司会が議長（竹内会長）に交代した

- （1）学校評価（生徒・保護者・職員）について （橋爪主幹教諭）

昨年12月に行われた『学校評価アンケート』の集計報告がされた。

《徳》規範意識が高く他者の気持ちを重んじる生徒が多い。信頼できる大人の存在が確認できた。登下校の交通マナーがまだまだできないという報告があり、地域・保護者の協力を得て改善を目指す。

《知》自主的に学ぶ姿勢がみられ、タブレット授業は、生徒・教師ともに向上している。

スマホ・端末機器等を使用する上でのモラル教育が必要である。

- ・家庭に持参したタブレットが、インターネットにつながるのか心配。ICT教育として、SNS等への無記名投稿の危険性について指導してほしい。（岡田委員）

◇令7年度は、情報モラル講座を2回を計画している（河合校長）

《体》偏った生活をしている生徒は少数で、極端な体調不良は見受けられていない。

課題として、『自分が決めたことに…最後まで取り組む』に、教師と生徒の目線の違いがみられる。充実した学校生活を送ることが、「日々全力で最後までやり抜く」ことにつながることを指導する。

- ・中学生は模索時期なので、目標達成にこだわらなくてもよいのではないか。（岡田委員）
- ・目標と違って、夢や希望は生きる上で必要なもので持ったほうが良い。（岡田委員）
- ・『最後まで…』は、前向きな判断でやめることも自己肯定感になる。（内山・岡田委員）

その他として、学校からの情報発信をこれからも続けていく。アンケート結果と委員の意見を来年度の参考にすると報告があった。

(2) いじめ防止等に関する取り組みの報告（西村生徒指導主事）

いじめ認知件数は28件で、解消は22件、6件の継続案件が残った。ネット上のいじめが多く、把握が難しい、困った生徒の報告で知ることが多い。今後もアンケート調査を継続する。

- ・転勤してきた時、声かけの言葉や肩たたきが、浜松は言葉が荒いと感じた経験がある。（岡田委員）
- ・コロナ禍以降、人と触れ合うコミュニケーションに慣れていない生徒が多い。（内山委員）

(3) 来年度の学校運営の基本方針について【資料参照 令6、令7案】（河合校長）

実態として、まじめで明るく課題に取り組む姿勢が良い。課題として、自己表現や自ら学習計画等を立てることが苦手なようなので、浜名中のグランドデザインを以下のように改訂する。

〈校訓〉「高めよマナーとし」浜名中の新校舎移転前の校訓と同じものとする。

〈学校教育目標〉～切磋琢磨～ 追記する

〈合言葉〉『自治の精神…』複数あった合言葉等を一つにまとめ、学級・学年・生徒会の支えとする

〈徳〉個性の尊重、〈知〉自己有用感、〈体〉全力を尽くすとし、重点目標を変更する

スローガンは〈描く夢や未来の実現〉、浜松市の教育目標に合わせた。健全育成会の目標も表記し、地域の期待を背負い自分を磨く中学校区生徒を目指し、ボランティア教育の推進につなげたい。

* 来年度の1回目CS会議にて、修正し基本方針の承認を受ける。（河合校長）

重要項目になるので、各委員の意見を聞いて共有したい。（司会 竹内会長）

- ・目標に向かうチャレンジ精神を認め・寄り添うグランドデザインになっている。（松島委員）
- ・「…やり抜く」から「…全力を尽くす」への変更は良い。（松島・岡田・内山委員）
- ・〔礼節〕に違和感を覚えていた、〔高めよマナー〕は挨拶から始まり大賛成。（岡田委員）
- ・原点回帰の〔高めよマナー〕は、すべてを表現している。レイアウト変更が必要。（内山委員）
- ・自信がなく弱気な生徒の、秘めた思いや実力を発揮できる指導をしてほしい。（竹内委員）
- ・職場体験等のかかわりの中で、自己肯定感をはぐくむ場を考えたい。（井田オブザーバー）
- ・〈徳〉〈知〉〈体〉の漠然とした内容が具体的になり、より協力しやすくなった。（高橋委員）
- ・学校だけでなく、地域も巻き込んでマナーの向上を目指していきたい。（竹内会長）

〔高めよマナー〕に対する、学校側の意見が聞きたい。（司会 竹内会長）

- ・今までの校訓は生徒の認知から離れていたが、地域・生徒・卒業生と一丸となれる。（黒柳教頭）
- ・旧浜名中学校の校訓であり、地域に根差した目標である。継続的な応援を期待する。（内山教頭）
- ・わかりやすい言葉で、グランドデザインが明確になり、浜名中を盛上げていく。（橋爪主幹教諭）
- ・〈校訓〉が、学校運営の根幹であり来年度も軸として進めていく。（西村生徒指主事）
- ・従来に比べ、柔らかい言葉が使われており理解しやすくなっている。（中島CS D）
- ・中学校だけでなく、企業・地域住民に広報し共有認識としていきたい。（竹内会長）

(4) 学校運営協議会の自己評価について【資料添付】（黒柳教頭）

回収した自己評価アンケートの集計結果の課題である、広報の在り方について認知度向上に対する提案を募った。学校HPへの掲載や、職員室前のCS情報掲示は行われている。

- ・『…マナー』を共通目標とし、自治会活動に防災を含めてCSが関係していることを広くPRする。
(竹内会長)(岡田委員)(松島委員)
- ・十分に広報ができていない基準がない。前期よりは広く認知されている。(高橋委員)
- ・保護者の認知増加のため、合言葉のように“CS”を多用する。(高橋委員)(岡田委員)(内山委員)
PTA役員への広報のため、広報委員を活用する。(竹内委員)
- ・同じ地域のCSとして、小中合同意見交換会を開催するのもよい。(松島委員)
健全育成会として、情報交換の場を計画する。(岡田委員)
- ・『高めよマナー』と『CS』この言葉を多用する。協働センターにチラシを置く。(全委員賛同)

6. 学校支援活動について (黒柳教頭) 司会が高橋委員に交代した

3年生面接練習会計画 3日間 【資料参照・チラシ】(黒柳教頭)

家庭に向けて練習会参加募集チラシを配布。

面接担当者は、担当日14:30までに会議室に集合、担当一覧を面接官に配布。

7. 連絡事項 【資料参照】(黒柳教頭)

夢やらまいか事業(CS加算分)に以下のことを報告した。

1 地域活動の充実

- ・CS委員の紹介により職業体験学習を行った。(2年生)

2 地域連携事業

- ・地域の専門家を講師とした合唱指導者講習を行った。(全学年)
- ・防災士の資格を持つ委員や防災ボランティアの方を講師とした避難訓練を行った。(全学年)
- ・地域の方々を講師とした放課後学習会を行った。(3年生)
- ・CS委員を面接官とした面接練習を行った。(3年生)

○次年度学校運営委員会開催予定(12/18現在の案)5回分が提示された。【資料参照】(黒柳教頭)

○小野崎委員の退任と、来年度の新PTA会長の委員就任の案内がされた。(黒柳教頭)

○卒業式・入学式の日程が連絡された。

卒業式 3月18日(火) 9:00集合 9:30開始

入学式 4月 8日(火) 13:00集合 13:30開始